



かごしま 市民のひろば

2009年(平成21年) 第509号

人とみどりが
輝くまち
かごしま



市旗

市の人口(推計)
平成21年9月1日現在(前月比)

人口総数	605,251人	(+78)
男	280,743人	(+78)
女	324,508人	(±0)
世帯数	264,678世帯	(±0)



本場大島紬アンテナショップ “織姫館”オープン

9月5日、天文館のぴらもーるアーケード内にオープンしました。大島紬業界の活性化と和装文化の振興のため、市民や観光客の皆さんに積極的に情報発信していきます。

■編集と発行
鹿児島市広報課
〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号
TEL.099-224-1111(市役所代表)
TEL.099-216-1133(広報課直通)
FAX.099-216-1134
Eメール
kouhou4@city.kagoshima.lg.jp

■ホームページ
<http://www.city.kagoshima.lg.jp>
「かごしま市民のひろば」は市のホームページでもご覧になれます

■携帯版ホームページ
<http://www.city.kagoshima.lg.jp>

バーコードリーダー付きの携帯電話で、右の二次元コードを読み取るとアクセスできます



■配布に関するお問い合わせ
南日本リビング新聞社
TEL.099-239-8124

【主な内容】

特集

読書の秋 文学に親しんで
みませんか……………8・9

- 市政総合……………2～4
 - ・わが家から始めよう！新型インフルエンザ対策
 - ・申請期限は10月13日です
 - ・定額給付金と子育て応援特別手当
 - ・始めましょう！環境にやさしい取り組み
- イベント・講座……………5～7
 - ・アジアン・鹿児島2009～第4回かごしまアジア青少年芸術祭～
 - ・第18回福祉ふれあいフェスティバル
 - ・第58回おはら祭
- 暮らしのガイド……………10・11
 - ・暮らしを支える3つの国民年金
 - ・全館休館 市民文化ホール
- 健康・福祉……………12・13
 - ・変わります 生活福祉資金貸付制度
 - ・保健センターイベント
- すこやか鹿児島っ子……………14・15
 - ・かごしまおもちゃ病院開院
 - ・21年度版 子育て応援特別手当

市民と ともに

鹿児島市長
森博幸

■広報紙六十年
「広報紙」が「かごしま市民のひろば」が、今年で発行六十周年を迎えました。戦後復興の槌音が響く昭和二十四年十月、「かごしま市政だより」として産声を上げ、その後、昭和四十二年四月の谷山市との合併を契機に現在の紙名に改称し、今日まで毎月休まず、市政の「今」をお伝えしてまいりました。



私は広報紙と同じ年であり、自分のこれまでの人生を重ね合わせ特別な感慨を覚えます。ところで、過去の広報紙の紙面を振り返りますと、市政発展の歴史と市民生活の移り変わりを垣間見ることが出来ます。昭和四十七年の太陽国体、五十年の五つ子誕生、五十九年のコアラ来園、平成の時代に入って、元年の市制百周年、五年の八・六豪雨災害、十六年の九州新幹線部分開業や隣接する五町との合併など、様々な出来事が当時の紙面を飾り、つい昨日のことのように思い起こされます。

還暦を迎えた「かごしま市民のひろば」がこれからも市民と市政をつなぐ架け橋として、多くの市民の皆さんに愛され続けることを願っています。

■スポーツ・文化の秋

少雨で猛暑の夏が過ぎ、近郊の水田ではたわわに実った稲穂が黄金色に輝き、街路樹も色づき始めるなど、日一日と秋が深まるこの時期、市内各地で運動会やスポーツ大会、芸術や文化の各種イベントが開催されています。

本市では今年も、市民が気軽に参加でき、芸術文化に触れ体験できるよう「市民生き生きスポ・レクフェスタ」や「市民文化祭」の開催をはじめ、体育の日には施設を無料開放し、市内の公共施設では秋の特別企画展や各種講座等を実施します。

優れた芸術文化に触れて実際に体験することは、生きがいや新たな自分の発見など、豊かな人生を送ることに繋がります。また、健康づくりも兼ねて軽い運動やスポーツで汗を流すことが心身に良いことは言うまでもありません。

市民の皆さんには、スポーツや芸術文化に親しむには最適なこの時期に、体を動かし五感で楽しむ秋を過ごしていただきたいと思っております。

(大切なものは保存しておきましょう)